

ハイドンの楽しみ

第3回 疾風怒濤の時代

1766年、34歳のハイドンはエスターハージ家の楽長に昇進します。侯爵の新しい宮殿エステルハーザ宮も建てられハイドンは一層多忙になります。

一方この時期にハイドンの作風に微妙な変化があらわれます。短調の交響曲が多く書かれ、深い感情表現を持つのも特徴です。この時期はハイドンの「疾風怒濤の時代」と呼ばれています。

今回はこの時期の交響曲から第26番「ラメントチオーネ」、第44番「悲しみ」、第45番「告別」、逆行メヌエットの第47番、第49番「受難」などから特徴のある楽章を聴きます。さらに2曲のピアノ・ソナタ、弦楽四重奏曲「太陽」作品20第5番を聴きます。

また後年のザロモンセットの交響曲から第96番「奇蹟」をお楽しみいただきます。



我孫子オーディオファンクラブ (AAFC)
分科会へのご案内 (会員による自主講座)

日時 / 2020年1月26日(日) 13:30~15:45

場所 / 久寺家近隣センター 多目的ホール

発表者 / 塚田 繁 (全10回)

参加自由・入場無料

問い合わせ / 090-5422-5479 脇田 <http://www.aafc.jp/>